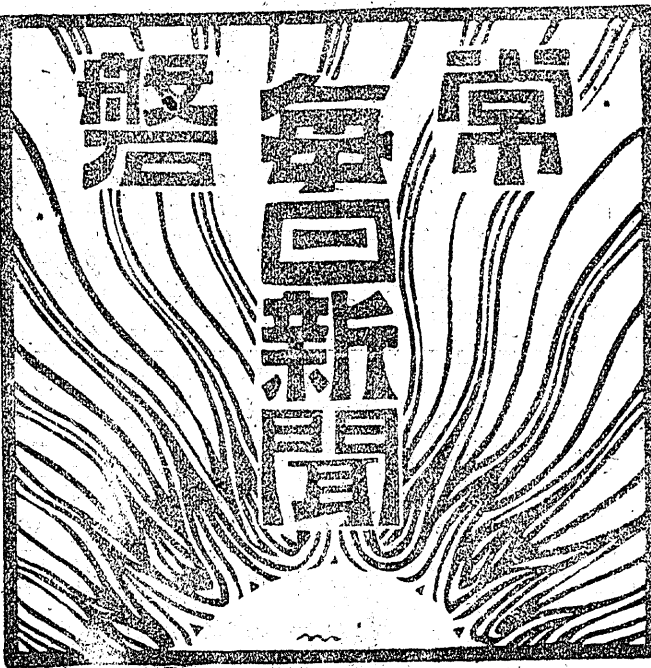


定部金貳錢 廣五號十三 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五  
 價一月五錢 告字詰一行 料五十錢 日刊日 常磐毎日新聞社  
 電話六三〇番



日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社内（電話六三〇番） 印刷所 常磐毎日印刷所

刊夕日五廿月六

廣告は安價で効果のある本紙を御利用下さい。御用命は……電話六三〇番

寄書  
 經濟決議案を  
 携へて

衆議院議員 太田正孝  
 經濟學博士

現在財政計畫上は、政友會時代の留保財源年額六千五百萬圓を現内閣は六千八百萬圓に増してあるとのことですが、いま申したことをよく考へて見れば輕率に減税が行へるといふやうなことは口に出されたいはずで、ましてや犬養總裁がいれたやうに今度のロンドン協定は千九百卅五年の會議になつてももちろん、軍縮になることを望んでゐますが國防は相對的のものでありあるひは増艦のやむなき

に至るかも知れませんが、さうなれば減税はおろか増税することになるかも知れないのであります。この意味においてこんどのロンドン協定は未定稿にすぎないであらうとせんか、しかるに漫然と軍縮を減税に結びつけて宣傳するのは向ふ見ずの輕率でありやがて世を欺く結果となるではないかと信ずるのであります。

四、似而非なる緊縮財政次に政府と與黨とがその乏しきうちの經綸の一つとして數へてゐるのは緊縮財政といふことです。けれどもこれは本當に行政財政を整理しての緊縮ではありませぬ、彼等のよく吹聴する昭和四年度の實行豫算もその編成についての法律上の議

論は別としてまして節減したのは一般會計において僅かに二千八百萬圓は繰延べです。これから後につかふといふものが多いのです。つまり後年度の財政を壓迫するものが多いといふことになりませぬ。そのうへこの議會に通過した追加豫算中には不意な黨利黨勢のために、しかも後年度に累ひを殘してゐるものが少くないのです。これが何で眞の緊縮豫算でせうか彼等の標榜するところにはソツがあります、似而非なる緊縮財政です。

常磐文藝

短歌 雜詠

一不二夫  
 ○庭べに咲きさきし薔薇の色こそはいかでかものを思はするかな  
 ○ひそやかにいつも寂しきわが胸にもえて咲かまし赤ばら  
 ○君がみの戀しきまゝに野に出で、しみくみえる夕暮の空  
 ○さみだれの降りしく今宵わが里を自動車の通りすぎゆく  
 ○吾が植えしトマトの日毎伸びければなごてかこころうれしくたのし

防水完全でしかも輕快優秀な……

レイントンコート

を種々豊富に取揃へました

松屋  
 座銀・京東

さつき!!

皆様の御氣に召す……

新花 盆栽

|       |       |
|-------|-------|
| 三年生十種 | 1,000 |
| 組物    | 1,500 |
|       | 2,000 |
|       | 3,000 |

△可愛らしい御子様の爲に  
 △家庭をよくまもる奥様の爲に  
 △美しい家庭をより美しくする爲に

花

平町(大) 加藤昭和園  
 (舊城跡町)

初夏の候と成りました皆々様愈々御健勝の段慶賀の至りに存じます

弊社開業以來多大なる御引立に預り厚く御禮申上ます、就ては小店儀好間村に同じ店名有ります爲通信其他間違ひの點多きを以て五月廿六日より平町高橋時計店事屋号(精幸堂)と改稱仕りました不相變御用命の程御願申上ます

平町土橋通り高橋時計店事

セーコー堂時計店

中村料理店組合

事務所 中村町宇多川町  
 電話 二八五番

和食卓覆ひは、和久井屋

平町志丁目  
 電話四〇五番

### 十銭の紙幣が 續々と姿を現す

#### 財政が窮迫した爲め 筆筒の奥から持出して

磐城地方から一時全く姿を消した五十銭と十銭紙幣が近頃になつてまた續々と姿を現し銀行、信用組合から大商店を驚かしてゐるこれは同紙幣を日本銀行が回収し始めたのを聞き記念に保存しようとしたんすの奥深く保管してあつたがいよいよ財政が窮迫したため假令十銭でもこの際融通させるのが得策だとあつてばつてはだすやうになつたためであらうと

### 戸籍吏協議 平署會議室で

平區裁判所管内戸籍吏會議室に於て開催されたが裁判所より中島裁判長臨席し戸籍事務に關し種々協議する所があつた

### 農蠶學校 改稱を申請

平町城山磐城佑賢學舎では今度磐城農蠶學校と改稱する事になり此程文部大臣に認可方を申請したが近く認可の運びに至るものと見らる

### 石城 体育研究 役員を改選

郡内各小學校職員が中心で組織された石城体育研究會は去る廿一日總會を開き役員を左記の如く決定したが一日午後一時より平第二校にて本年度事業を協議する(顧問)小野寛美、水本泰

### 町治の圓滿を期し 町政審議會が結束

#### 町當局を輔けんと 某所に會合懇談會

平町會は既記の如く最近感情のつれ等から非役場的の空氣が可成り濃厚になり出して來たが町治の進展を圖るには先づ第一に是れが圓滿を圖り町當局を輔けて其の方針を過らしめず徹底的に所信を斷行せしめねばならぬとの意見が擡頭し町會中の各分野が政黨政派を超越して合派し町政審議會の名目の許に結束を固くする事となり準備中であつたが廿七日午後六時から某所に會合し發會式を兼ねた懇談會を開く事になつたと

### 道路愛護會 町村組織を奨励

道路愛護會の去月一日以來平土木監督所では管内道路の完全を期すべく各町村に道路愛護會を組織する計畫中であつたが石城郡鹿島村を初めとして郡下三坂神谷澤渡落路夫の各村に組織されその地町村もそれと組織計畫中であるから近く實現を見るべく目下同所では極力奮勵中である

### 出演兒童が 總數八百十名

#### 一日の唱歌會

既報平第二小學校主催郡内學校兒童唱歌會は來月一日午前十時から同校講堂に開催される等であるが参加校は左記十八校、出演兒童八百十名の多きに達すると

### 染物の講習 平の婦人が

平女子青年團、平婦人會、合同にて廿八日午後一時より及び翌廿九日午前九時より平第二校作法室に染物講習會を開催する筈であるが

### 既に十名 磐崎のチフス

石城郡磐崎村大字上湯長屋小野田炭礦坑夫舟山繁治(一)は去る五日發病二十日(二)は去る五日發病二十日(三)は去る五日發病二十日(四)は去る五日發病二十日(五)は去る五日發病二十日(六)は去る五日發病二十日(七)は去る五日發病二十日(八)は去る五日發病二十日(九)は去る五日發病二十日(十)は去る五日發病二十日

### 事務検査打合 平町

役場事務検査員野崎滿藏、千葉彦治、鈴木光吉、吉田虎之助、青沼鋒太郎の五氏は本日午後二時より平町役場會議室に集合し去る十八二十の兩日に亘り調査した結果を廿九日開かれる町會に報告すべく打合せをなした

### 郷土趣味を高調し 健全な益唄を募集

#### 田町青年分團が發起し 優秀歌に賞品贈呈

平地方の益唄は純然たる同地方の民謡であるが歌詞に甚だいかげはしきものが多いため是れが改善に努め郷土趣味を高調せしめる爲め健全な益唄の普及を圖らんと田町青年分團が一般より是れを大々的に募集する事になつた募集の要領は左記の如くで審査員は追て發表する(締切)七月廿日(發表)同

### 一塊の石炭も 節約の方針

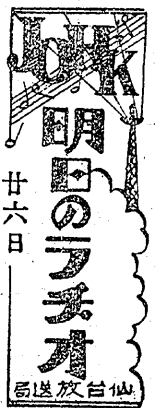
(中村通信)中村藩市場は一塊の石炭なりとも無駄なことができぬと一日の消耗高を記帳し細心の注意を拂つてゐるその記帳を見るに

### 平町 人事

▲出生  
▽研町四 當時東京市淺草區北清島町七八 橋本利氏長女佐和子  
△番匠町五 椎名藤作氏二女キキ

### 常磐 片々

十銭紙幣が續々出て來るとお次ぎには不渡手形か夫れにしても井上藏相は未だ「不景氣悲觀するに及ばない」等と涼しくなつて居られますか  
○イヤよい御身分で御座んす超黨派の町政審議會、町治上には是非斯くあり度い  
○健全な益唄、是れでこそ恥かしがらずに踊れる、踊れる、ヤロヤッタなど



明日のラジオ 廿六日 報豫氣天 今晩は北東の風 驟雨模様明日は 驟雨の風曇り勝 ち時々晴れ午後 驟雨模様

- △前九・一〇 料理献立 『胡瓜の印籠灸』舟山喜恵 子發表 日用品値段 『婦 人子供服地並に附品』 前一〇・三〇 家庭講座 『如何にせば三味線音楽 を容易に取扱ひ得べきか』 杵屋彌七 △後〇・〇五 和洋合奏 一、長唄岸の柳 二、接續 曲『今様俗謡集』松竹管絃 樂團 指揮 島田晴譽 △後二・〇〇 家庭大學講 座『榮養學』榮養研究所長 醫學博士佐伯矩 △後六・〇〇 子供の時間 童話劇『天馬の蹄』安部季 雄作、演出 B.K. コドモサ △後六・三〇 英語講座 『中等科第六講の二』岡田 哲藏 △後七・二五 趣味講座 『鮎の釣り方』藤田榮吉 △後八・〇〇 漫談『野球 病患者』西村樂天、指揮 男澤靖史 △後八・三五 清元『雁金』 清元梅喜美外 △後九・〇〇 連續講談 『富藏と藤十郎第四席』神 田伯治 △後九・四〇 時報 氣象 通報、生駒相場、プログ ラム豫告

### 鮎の釣り方

藤田 榮吉

藤田氏は鮎釣の名人として知られて居り、東京釣友會の重鎮です。魚族のすべては、光りを慕ふ習性を有つてゐます。鹹水魚類の釣鉤は悉く水中に光澤を放つものが使用されてゐます。淡水魚族にあつても同様でありまして、コヒのカラ鉤にかゝることやワカサギの掛つりもこればあります。が就中アユはこの光りを慕ふ習性が頗る強くありまして、古くから行はれてる漁方にも多く光りの利用されたものが多いのです。引ッ掛と稱するカラ掛を引かないサナ網の白いのに

ます、その下部の鉤の位置は、二寸三寸上、今頃は夫よりも三、四寸上部につけておく。釣の方法は、すべてドブづりと同じ遣方である。静かにおろしては静かに上げて、折々手首だけを動かして鉤に動揺を與へるとす。掛る強い引です。あの花車な一厘柄のテグスの大型の掛るトモも面白い、然も魚體のどこといふことな。鉤が刺れるのであるから、却て容易に釣りに上

浪花節 天野屋利兵衛 宮川小左近 敷島の和心を人と問はば、朝日に匂ふ山櫻花、人生は秋の月昨日は満て今日缺く、只手枕の夢の間に人は一代名は未代、體は朽ても名は残る、死る命は御主のため、家をも身をも顧みず、男の仲の男俠と見込まれて大石にたのまれた利平は、たとい親子殺されても自状は出さぬ、天野屋利兵衛は男でござる、奉行松野河内守の取調へ一席不勉乍もつとめませう、ざんじ御静聽願ふ。

私の實驗 したことをこのアユ解禁の初期に於て一般に公開して見たいと思ふ。色増把夕映(雁金) 淨瑠璃 清元梅喜美 同 清元 梅秀 三味線 清元梅津多 上調子 清元 三吉 『雁金を合結びし厨も昨日

合残る暑さを忘れてし、肌につめたき風たちて、晝も音を鳴く蟋蟀に哀れを添る秋の末我身一つにあらねども愛にわけなき事にさへ露の涙のこぼれ萩、曇り勝なる空癖に、夕日の影の薄紅葉、梅も色變る、中に常磐の松の色、まだ其時は卵の花の、夏の初めに白河の關はなけれど人自をば厭ふ隔ての旅の宿 飛交ふ蝶に燈火の、消て若葉の、木下闇 『思はぬ首尾にしつ

らくと風に亂る、萩草は誰ぞとも名は白菊の咲き出て、匂ふ我家ぞ知られける。 胡瓜の印籠灸 舟山喜恵子發表

▽材料(五人前) 胡瓜五六寸のもの二本 牛の挽肉三十匁 鹽茶匙半分 玉葱半ケ 胡椒茶匙三分の一杯 トマトソース一合 △作り方 胡瓜を皮のま、よく洗ひ中心を丸くくりぬき其のあとに鹽をぬりつけ、鹽のききました、頃水洗ひを致します、挽肉にはかろく鹽胡椒を致しまして玉葱のミジンに切りましたものと一緒にして胡瓜の中に詰めます鍋に湯一合ばかり沸かし鹽胡椒で味附を致しました中に前の胡瓜を丸のまま又は半分に取りまして入れ肉の煮えた頃に取り出し七八分位に切つて皿に盛りつけて置きます。後の汁を一度こしましてカスを取り其の中にレマトソースと片栗粉大匙一杯とを入れて煮込み味加減を見ましてから上にかけるのでございま

相馬郡中村町 丸山醫院 電話五一番

六月二十八日午後一時より 全 二十九日午前九時より 午後四時迄 ◎二日間連續講習 みやぶ染講習會 會場 平第二小學校講堂 ▼講習無料 主催 平婦人會 平女子青年團 後援 平藥業會

二十六日より公開 松竹現代派大作映畫 3 善人全 警城、入山、兩炭礦を背景としてロケーションせる、松竹独自の名篇、岩田祐吉、押本映治、小林十九二共演

大岡政談 續 第一篇 魔像篇 江直見伏・郎次傳内河大 日活作品 牡丹燈の記全 楠英二郎、市川小文治、櫻井京子、尾上桃華共演

看護婦至急募集 (但し有資格者) 吉田眼科病院 平紺屋町、電話六八番

吉田眼科病院 平紺屋町、電話六八番

# お醤油はヤマフル

醤油味噌  
たひら正宗  
鯉節食料品

鹽屋  
合名會社

福島縣平町  
電話(營業部)一〇番  
(醸造工場)二七番

# 江戸前料理 會津屋

あわびの料理 始めました  
初夏の鳥料理 ぜし一度御試食下さい

出前迅速 錦水

田町末廣東隣り  
電話(四二二番)  
呼出(八〇三番)

# 専門 内科一般

住宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではありません  
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

川井内科診療所

醫學士 川井重之  
女醫 川井安子  
電話 七二二番

# 酒、醤油

醸造元

相馬郡中村町南町

會津屋

仙台鐵道局管内  
構内販賣指定

銘 酒 沖正宗

特約店 中村大町

和木屋本店

電話六十五番



喫茶部新設

各種 体質  
專治 胃内薬局  
電話 四〇番



# エースビール

萬人嗜好の的  
風味芳醇!

清涼飲料

リボニミトロン

# 氷水開業廣告

氷水を相始めました、本年は左の如く値  
下げを断行しましたから多少に不拘御用  
命御引立の程を願上げます

|         |     |      |     |
|---------|-----|------|-----|
| 水       | 四錢  | 氷あつき | 十錢  |
| 同いちご    | 八錢  | 同しらす | 十錢  |
| 同れもん    | 八錢  | 同ラムネ | 十五錢 |
| 同ぶどう    | 八錢  | 同ラムネ | 十五錢 |
| アイスクリーム | ... | ...  | ... |
| あづきアイス  | ... | ...  | ... |
| ミルクセイキ  | ... | ...  | ... |
| 水セイキ    | ... | ...  | ... |

御注文は 電話三〇五番へ

出前迅速 藤

平町字二丁目 市

# 耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

# 合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

